

## 祝 辞

春爛漫のこの佳き日、宮崎国際大学及び大学院の入学式を迎えました。学校法人宮崎学園を代表しまして、お祝いを述べさせていただきます。学部及び大学院の新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様ならびにご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。宮崎学園のすべての関係者とともに、宮崎国際大学にお迎えすることを重ねて心からお慶び申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和14年、大坪 資秀 初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、85年の歴史を刻んでいます。

本学が立地する地は、儒学者である安井 息軒 先生の父 滄州 先生が、清武にこそ学問の場が必要であるとのことで、私塾である「明教堂」を開き、儒学を教えられた地です。安井息軒先生をはじめ、明治初期の日本の近代化実現に向けて、人材を送り出した地は、まさに「学びの丘」であります。先人たちのこの清武から学問を発信したいという願いは、190年の歴史を経て、今もなお脈々と受け継がれています。

本学は、平成6年、大坪 久泰 第2代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取り組みました。また、創立20周年を迎えた平成26年には教育学部を新設し、教員養成に取り組み始めました。そして、昨年は、大学院を設置し、本年は創立30周年を迎える年となりました。このような記念の年に入学されたことをとても嬉しく思います。

本学園の建学の精神は、「礼節・勤労」です。建学の精神「礼節・勤労」の大きな願いは、地球が平和で、すべての人がお互いを尊重しあう社会が築かれていくことです。学生の皆さんに願うことは、皆様方の人間としての成長です。

「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざします。

さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざします。これらは、日々の生活において真摯な態度で生きることを求めるものであります。このような人としての成長を目指しながら皆さまは学問を学びます。

ポストコロナを迎え、皆さんの学びは大きく変わりました。どこにいても世界中の情報を容易に得ることができます。社会全体の営みは変わりました。特に、教育の世界では令和5年度から国の制度が変わりました。そのキーワードは、子どもたちの人権が守られることであり、ウエルビーイングを目指すということです。だからこそ、本学で学ぶ皆さんには、一つ一つを判断するための幅広い教養や専門的知識が必要となります。現代を見るときに、過去の歴史から学ぶことは多くあります。多面的思考によって本学でその学びを深めていってください。

本学での学生生活を通して大切にしたいことが2つあります。

1つは、学友との出会いです。これから出会う新たな友と自らの夢を語り合い、学問を深め、共に高めあえる4年間そして2年間になることを期待しています。コロナ禍で体験できなかったことが沢山あると思います。その体験を取り戻しながら、どうぞ積極的に実体験を積んでください。

もう1つは、学問的な問いを持つことです。なぜという問いは、皆さんを大きく育てます。自ら良く考え、物事に正面から向き合って、大きく成長できる学生生活を送ってください。

結びに、「見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う」。挑戦という航海に出発です。私たち宮崎学園は、全力で皆さまの新たな学びを支援します。

皆さまの大学生活が、実り多きものとなりますことを心から願ひまして、理事長祝辞といたします。

令和6年4月7日

学校法人宮崎学園理事長 山下 恵子